

科目責任者 高野 麻子 (社会学研究室)

## ■ 教育目的

本講義では、社会学の基礎を学びます。「社会学＝文系の学問」ではありません。私たちが日常生活のなかで無意識のうちに行う判断や振る舞いが、どのような社会構造のもとに規定されているのかを考える学問です。人はさまざまな仕方では他者とかかわり合いながら生きています。そのため、社会と無関係でいられる人はいないのです。授業を通じて「当たり前」という感覚がいかにして作り出されるのか、そして「当たり前」だと思っていることのなかに「問題」はないのか、一緒に点検していきましょう。こうした社会的思考を身につけることは、医療従事者としていかなる社会の構築を目指すべきかを考えることにつながります。

## ■ 学習到達目標

1. 社会学の基礎を理解すること。
2. 一人の生活者として自分たちを取り巻く社会の問題を析出・分析する力の養成。
3. 医療従事者の視点から目指すべき社会を構想する力を養うこと。
4. レポート作成により論述の仕方を身につけること。

## ■ 準備学習（予習・復習）

予習：日頃から、新聞やテレビのニュースを通じて国内外の情勢に関心を持つこと（毎日 15 分）。

復習：授業中に紹介した文献や資料を読むこと（30 分）。

## ■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	イントロダクション	社会学とは？ 社会学を学ぶことの意義とは？	
2	身体・生命・医療	優生思想とは何か	
3	//	優生思想の歴史の変遷	
4	//	治療を超えた医療を考える	
5	//	身体と生命をめぐる新たな諸相	
6	現代社会の構造	監視社会とは何か	
7	//	リスクマネジメントと秩序形成	
8	//	個人化する社会—「安全」と「安心」の構造	
9	//	監視テクノロジーの歴史の変遷	
10	//	マイナンバーの医療への活用	
11	近代国家の成り立ち	国民国家とは何か	
12	//	国民形成の諸装置	
13	//	ナショナリズムを考察する	
14	//	グローバル化の進展と国家の変容	
15	全体のまとめ	よりよい社会を構想するために	

## ■ 授業分担者

高野 麻子 (No. 1～15)

## ■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

評価方法：①各回の小課題 25%＋②中間レポート 25%＋③最終レポート 50%による総合評価。

フィードバック方法：①小課題：学生が書いた文章を授業中にいくつか紹介し、短時間で自分の意見をまとめる方法をアドバイスする。②中間レポート：採点后に返却し、全体への解説を行ったうえで個別に質問を受け付ける。③最終レポート：随時個別に質問に応じる。

## ■ 教科書

教科書は使用しません。各回の授業でレジュメや資料を配布します。

## ■ 参考書

授業中に各回のテーマに関連する文献の紹介と解説をおこないます。

## ■ その他

履修者数、授業の進度、学生からのコメント等によって、スケジュールを一部変更することがあります。